

■公益社団法人日本補綴歯科学会 第 132 回学術大会 —設立 90 周年記念大会—

■メインテーマ

補綴の未来, 歯科の未来. “Society 5.0 に向けたイノベーションの創出”

■理事長講演

5月20日(土) 第1会場 10:10～10:50

補綴歯科専門医として社会と繋がる—補綴の価値のさらなる創出に向けて—

座長: 馬場 一美 (昭和大)

講師: 窪木 拓男 (岡山大)

2023年6月に開催される総会および新理事による理事会を経て、岡山大学学術研究院医歯薬学域インプラント再生補綴学分野の窪木拓男教授が第40代理事長に就任される。

本講演では「補綴歯科専門医として社会と繋がる—補綴の価値のさらなる創出に向けて—」と題して、本会の悲願である標榜可能な専門医制度実現後の本会のあり方だけではなく、若手会員にとって夢のある未来の学会像についてもお示しいただく。

(座長 馬場一美)

■特別講演

5月21日(日) 第1会場 9:00～10:00

新型コロナウイルス感染症パンデミックの終息に向けて

座長: 馬場 一美 (昭和大)

講師: 二木 芳人 (昭和大医)

新型コロナウイルス感染症は、政府が感染症法の分類を5類感染症へと移行することを決定し、COVID-19の存在を認めながら種々の規制緩和・社会経済活動の復帰に舵を切りつつある。本特別講演では、感染症学をご専門とし、さまざまなメディアでご活躍されている昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門の二木芳人教授をお迎えし、超高齢社会にある我が国におけるウィズコロナ政策について、我々が進むべき方向性をお示しいただくこととする。

(座長 馬場一美)

■海外特別講演

5月20日(土) 第1会場 14:10～15:40

Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?

補綴歯科におけるエビデンスに基づく治療計画は現実的か、
それとも錯覚にすぎないか

座長：細川 隆司 (九歯大)

横山 敦郎 (北海道大)

講師：Bjarni E. Pjetursson (University of Geneva)

第132回学術大会海外特別講演は、ジュネーブ大学のB. E. Pjetursson教授をお迎えいたしました。Pjetursson教授は、デンタルインプラントを含めた補綴治療に関する数多くのシステムティックレビューを発表されています。今回は、“Is evidenced based treatment planning in prosthetic dentistry realistic or only an illusion?”というかなり刺激的なタイトルで、これまでの先生の多くのシステムティックレビューとメタアナリシスに基づくお話をいただく予定です。臨床研究をおこなっている研究者だけではなく、多くの臨床家にとって大変興味ある内容です。

(座長 細川隆司, 横山敦郎)

■メインシンポジウム

5月20日(土) 第1会場 16:00～18:00

臨床へ実装されるバイオロジー研究 ～研究室から診療室へ～

座長：疋田 一洋 (北医療大)

江草 宏 (東北大)

シンポジスト：澤瀬 隆 (長崎大)

窪木 拓男 (岡山大)

吉田 靖弘 (北海道大)

二川 浩樹 (広島大)

本学会では幅広い領域で研究が行われており、バイオロジー研究も重点的分野の1つであり課題口演のカテゴリーとして取り上げられている。しかし、その研究成果がいかに優れていても、臨床応用まで到達させるまでには多くのハードルがあり、その実例は少ないのが現状である。本シンポジウムでご登壇いただくのは、基礎研究のみならず臨床分野においても優れた研究成果を積み上げて、臨床応用に到達あるいは到達間近のプロジェクトを遂行されている先生方である。これまでの研究のきっかけから、どのようにして研究を遂行し、実用化にアプローチしてきたのか、開発品の臨床使用における留意点やエビデンス等についてご自身の経験と知見をご紹介いただく。

(座長 疋田一洋, 江草 宏)

■シンポジウム1

(特非) 日本顎咬合学会 共催

5月20日(土) 第1会場 11:00～12:30

補綴の原点である咬合を極める

座長：山下秀一郎（東歯大）

谷田部 優（東京支部）

シンポジスト：重本 修伺（鶴見大）

上田 秀朗（九州支部）

中村健太郎（東海支部）

咬合とは、歯や補綴装置を介した上下顎の接触関係を指す。中心咬合位で噛んだ場合には、歯列は最大接触面積で咬合し、顎関節や筋肉と調和した場所に下顎は位置づけられ、偏心運動時にはガイドの存在により、下顎は安定した滑走運動が可能となる。失われた中心咬合位を再現するために、さまざまな議論がなされているが、本セッションでは、咬合を正しく理解し、学会としての方向性を明確することを目的にディスカッションを深めたい。

(座長 山下秀一郎, 谷田部 優)

■シンポジウム2

(一社) 日本歯科理工学会／

(一社) 日本接着歯学会 共催

5月20日(土) 第3会場 16:30～18:00

どちらを使う？ニケイ酸リチウムガラスとジルコニアの徹底比較

座長：小峰 太（日本大）

南 弘之（鹿児島大）

シンポジスト：伴 清治（愛院大）

猪越 正直（医歯大）

大谷 恭史（関西支部）

メタルフリーや審美補綴材料の進歩から、オールセラミック製の補綴装置が広く使用されるようになってきた。オールセラミックスの中でもニケイ酸リチウムガラスセラミックスとジルコニアが、現在広く臨床で使用されている審美修復材料であると考えられるが、これらの材料はどのように使い分けるべきだろうか？本シンポジウムでは、それぞれの材料の特徴や臨床で使用する上での接着法を整理し、さらにこれらの材料を実際に使用されている臨床家の先生に臨床応用のポイントをご解説いただく。

(座長 小峰 太, 南 弘之)

■シンポジウム 3

5月21日(日) 第2会場 10:10～11:10

リアルワールドデータの歯科における利活用

座長：池邊 一典 (大阪大)

 笛木 賢治 (医歯大)

シンポジスト：山本 陵平 (大阪大)

 豆野 智昭 (大阪大)

近年、情報技術の発展によって日々生じる膨大なデジタルデータは、個人情報に関する法律の改定により入手し易くなってきた。

「リアルワールドデータ (RWD)」とは、医療や介護の現場で日常的に発生するデジタルデータの総体であり、臨床医学研究での利活用が飛躍的に伸びてきている。しかし、歯科での事例はまだほとんどみられない。

そこで今回は、RWD を用いた研究の利点や欠点、歯科での利活用について検討してみたい。

(座長 池邊一典, 笛木賢治)

■シンポジウム 4

5月21日(日) 第3会場 11:20～12:20

シングルセル解析とバイオインフォマティクスで拓く補綴歯科研究 ～単一細胞から組織発生・再生のメカニズムを理解する～

座長：秋葉 陽介 (新潟大)

 大島 正充 (徳島大)

シンポジスト：大庭 伸介 (大阪大)

 大野 充昭 (岡山大)

近年、遺伝子解析技術が目覚ましい発展を遂げ、細胞単位での遺伝子発現解析が可能となり、すでに、補綴歯科領域におけるバイオロジー研究も、これらの遺伝子解析技術や解析コンセプトの理解・応用が不可欠な時期を迎えている。本セッションでは講師の先生方にシングルセル解析とバイオインフォマティクス解析に関する研究アプローチをご紹介いただき、最先端バイオロジー研究の現状と展望について会員と議論したい。

(座長 秋葉陽介, 大島正充)

■シンポジウム5

(特非) 日本歯科保存学会／
(公社) 日本口腔インプラント学会 共催
5月21日(日) 第3会場 13:30～15:30

歯科金属アレルギー診療指針に向かう道標

座長：江草 宏(東北大)

峯 篤史(大阪大)

シンポジスト：矢上 晶子(藤田医科大)

加治屋幹人(広島大)

正木 千尋(九歯大)

秋葉 陽介(新潟大)

この度アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針が改正され、医療提供体制に『歯科医師』が追加された。これに応じて歯科も医科と連携して金属アレルギーの実態調査、診断法の確立、そして多科連携診療モデルの構築に取り組むことが求められる。しかし、歯科金属アレルギー治療指針は定められていない。本シンポジウムでは歯科金属アレルギー診療指針策定への展望を議論したい。

(座長 江草 宏, 峯 篤史)

■診療ガイドライン委員会セミナー

日本義歯ケア学会 共催
5月20日(土) 第2会場 14:10～15:40

義歯のリライン Update

座長：西村 正宏(鹿児島大)

松香 芳三(徳島大)

シンポジスト：村田比呂司(長崎大)

河相 安彦(日大松戸)

長谷川陽子(新潟大)

義歯不適合に対する処置は、新義歯製作またはリラインが一般的である。リラインによる対応は、新義歯製作と比較して患者の来院回数や医療費の軽減を図ることができる。本セミナーでは、補綴専門医として知っておきたい軟質リライン材に関する基礎と正しい使い方、リラインに関する臨床手技について解説し、今般改訂された「リラインとリベースの臨床指針2023」と、新たに公開された「軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023」を紹介する。

(座長 西村正宏, 松香芳三)

■臨床スキルアップセミナー

5月21日（日） 第2会場 9:00～10:00

義歯調整の勘所

座長：村田比呂司（長崎大）

水口 俊介（医歯大）

講師：都築 尊（福歯大）

木本 統（愛院大）

義歯の調整は日常臨床で行うもっとも多い処置の一つであり、患者が義歯を受け入れるか否かに係る重要な処置である。本処置は義歯床と床下粘膜との適合状態、咬合関係、さらには患者の要求内容等を総合的に診査して行う必要がある。とくに経験の浅い歯科医師にとっては、義歯調整に時間も要し、処置方法に迷うことも多い。本セミナーでは有床義歯臨床に卓越された新進気鋭の先生に義歯調整の術式やポイントを体系的にご講演いただく。

（座長 村田比呂司，水口俊介）

■臨床リレーセッション1

5月20日（土） 第2会場 11:00～12:30

アンテリアハイパーファンクションにどう対応するか？

—その病因学と補綴治療のキーポイント—

座長：若林 則幸（医歯大）

多田紗弥夏（シンガポール国立大学）

講師：荻野洋一郎（九州大）

大山 哲生（日本大）

中野 環（大阪大）

臼歯部咬合支持域を喪失した部分歯列欠損症例（Eichner 分類 B4/C1/C2 に該当する症例）において、特に下顎前歯部が残存する症例では、残存する前歯が過度に機能すること（アンテリアハイパーファンクション）が原因で、義歯の力学的コントロールが困難となり補綴的対応に苦慮することが少なくない。本リレーセッションでは、改めてアンテリアハイパーファンクションにおける知見を整理し、病因学的な側面から治療方針や対応法について包括的に議論したい。

（座長 若林則幸，多田紗弥夏）

■臨床リレーセッション2 (専門医研修単位認定対象セッション)

5月20日(土) 第2会場 16:00～18:00

テレスコープ義歯

—臨床現場における有効な活用法を考える—

座長：山下秀一郎 (東歯大)

田中 讓治 (東関東支部)

講師：都築 尊 (福歯大)

榎原 絵理 (九歯大)

田坂 彰規 (東歯大)

部分床義歯の設計において、義歯の動揺の抑制は口腔関連 QOL に関わる重要な要件である。支台装置にテレスコープを選択すると、リジッドコネクションが実現し動揺の抑制をはかることが可能であるが、使い方を誤れば歯根破折等の重篤な状況が惹起されるのも事実である。本セッションでは、高いポテンシャルを有したこの支台装置について、臨床現場における有効な活用法についてディスカッションを深めたい。

(座長 山下秀一郎, 田中讓治)

■臨床リレーセッション3

5月21日(日) 第2会場 13:30～15:30

現代補綴の到達点：支台歯形成から補綴装置装着までのステップ

座長：土屋 賢司 (日本臨床歯科学会)

鮎川 保則 (九州大)

講師：千葉 豊和 (日本臨床歯科学会)

瀬戸 延泰 (日本臨床歯科学会)

伊藤 雄策 (日本臨床歯科学会)

支台歯形成から補綴装置装着までのステップは一般歯科医でも毎日行う治療行為であるが、その分権性で行っていることが多いのではないだろうか。どのような領域でも昔学んだ内容はいつの間にか時代遅れになっているが、毎日行う治療行為ほど最新知識の収集を怠りやすい。本セッションは歯冠補綴治療の支台歯形成から補綴装置装着までを最先端の臨床家に高密度で解説いただくセッションである。

(座長 土屋賢司, 鮎川保則)

■症例報告コンペティション

(一社) 日本歯科技工学会 共催

5月21日(日) 第1会場 10:10～12:20

Focus On 補綴歯科コラボレーション!

座長：樋口 大輔 (松歯大)

陸 誠 (西関東支部)

発表者：西山 英史・高橋 健 (日本臨床歯科学会)

兒玉 直紀 (岡山大)・新町 愛子 (関西支部)

服部麻里子・山谷 雄一 (医歯大)

浅井 宏行・黒松 慎司 (関西支部)

田中 晋平・古舘 美弥 (昭和大)

内山 徹哉・間中 道郎 (日本臨床歯科学会)

補綴歯科においては、歯科医師と歯科技工士、歯科衛生士が共同して治療を実践する必要がある。例えば、歯科医師は技工伝票に多くの情報を記載するが、それだけでは伝わりきらない情報も多く、外来診療に参画することが少ない歯科技工士と情報共有をすることが重要である。このセッションでは、補綴学会として初めての試みとして、補綴歯科コラボレーションと題したコンペティションを開催し、その連携の重要性、ポイントを再発見するきっかけとする。

(座長 樋口大輔, 陸 誠)

■専門医研修会 (専門医研修単位認定対象セッション)

5月21日(日) 第1会場 13:30～15:30

補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する その2

睡眠時無呼吸症患者の治療

座長：河相 安彦 (日大松戸)

榎原 絵理 (九歯大)

講師：重田 優子 (鶴見大)

石山 裕之 (医歯大)

渡辺 崇文 (九歯大)

補綴歯科専門医は「補綴歯科の難症例」に対応できる知識と技能を有することが求められる。本研修は難症例に分類される「睡眠時無呼吸症候群」に関する特徴・医療連携・口腔内装置の介入に取り組んでいる3名の先生にご講演をいただき、睡眠時無呼吸症候群について修得すべき知識、実践的技能と患者に対するケアを含めた情意領域などについてご解説をいただく。

(座長 河相安彦, 榎原絵理)

■歯科技工士セッション

(一社) 日本歯科技工学会／
(一社) 日本デジタル歯科学会 共催

5月21日(日) 第3会場 9:00～10:00

デジタルデンチャーの“いま”： デジタルデンチャーの導入，効果的な製作のために

座長：金澤 学 (医歯大)
松田 謙一 (関西支部)
講師：竜 正大 (東歯大)
吉田 馨太 (関越支部)

デジタルデンチャーは以前よりさまざまなメーカーが研究開発を進めており、すでに総義歯に関しては実用段階に入っていると考えられるものの、今のところ十分に臨床応用されているとは言いがたい。そこで、本セッションではデジタルデンチャー分野において活躍されておられるお二人に、デジタルデンチャーの活用方法や実際の臨床応用における問題点、ラボサイドに導入するメリットや精度を高めるポイントなどについて御講演していただく予定である。

(座長 金澤 学, 松田 謙一)

■歯科衛生士セッション

(公社) 日本歯科衛生士会／
(一社) 日本デジタル歯科学会 共催

5月21日(日) 第2会場 11:20～12:20

歯科衛生士が学ぶべき口腔内スキャナーをはじめとする 急速に進歩するデジタルデンティストリーの実際

座長：近藤 尚知 (愛院大)
星 憲幸 (神歯大)
講師：田中 譲治 (東関東支部)
吉久保典子 (小池歯科医院)

急速に臨床応用が進んでいる口腔内スキャナーについて、歯科医師の立場からの情報提供は頻繁に行われているが、その一方で、歯科衛生士がいかにして口腔内スキャナーを活用していけるかについては、ほとんど周知されていないという現状がある。本企画においては、そのような状況を鑑み、デジタル歯科技術に精通した歯科医師と歯科衛生士から、口腔内スキャナー活用の新たな展開を紹介する。

(座長 近藤尚知, 星 憲幸)

■ハンズオンセミナー 1

5月20日(土) 第4会場 9:00～10:30
第4会場 10:40～12:10

磁性アタッチメントを習得する～技工操作から取り付けまで～

講師：鈴木 恭典(鶴見大)

協賛：株式会社モリタ, 株式会社ケディカ

■ハンズオンセミナー 2

5月20日(土) 第5会場 9:00～10:30
第5会場 10:40～12:10

口腔内スキャナーの実践 Ver.5

講師：樋口 大輔(松歯大)

協賛：株式会社松風, ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社, 日本ピストンリング株式会社

■ハンズオンセミナー 3

5月20日(土) 第4会場 14:10～15:40
第4会場 16:00～17:30

ウェアラブル筋電計を用いたブラキシズム診断の実践

講師：山口 泰彦(北海道大)

協賛：株式会社ジーシー

■ハンズオンセミナー 4

5月20日(土) 第5会場 14:10～17:30

包括的補綴歯科治療に必要なペリオドンタルプラスチックサージェリー

講師：小田 師巳(岡山大)

園山 亘(岡山大)

協賛：株式会社松風, ヒューフレディ・ジャパン合同会社, ペントロンジャパン株式会社,
クインテッセンス出版株式会社

■ハンズオンセミナー 5

(一社) 日本歯科技工学会／

(一社) 東京都歯科技工士会 共催

5月21日(日) 第4会場 9:00～12:00

部分床義歯完全デジタルワークフローのためのボックスジョイントテクニック

講師：中野田 紳一 (株式会社インサイドフィールド)

協賛：株式会社エクセル歯科研究所, こばやし歯科クリニック,
株式会社デンタルデジタルオペレーション, 株式会社六甲歯研

■ハンズオンセミナー 6

5月21日(日) 第5会場 9:00～12:00

デジタルデンティストリーにおけるバーチャル Wax Up の実践

講師：植松 厚夫 (日本臨床歯科学会)

貞光謙一郎 (日本臨床歯科学会)

吉田 茂治 (日本臨床歯科学会)

協賛：PLANMECA OY

■教育講演 1

5月19日（金） 第2会場 16：00～17：00

歯科訪問診療で考慮すべき医療安全（Patient safety）

座長：高橋 一也（大歯大）

講師：古屋 純一（昭和大）

安心安全な医療の提供は最優先されるべき事項であり、歯科診療所および病院歯科における医療安全に関してはガイドラインや指針等が示されている。一方、患者の自宅や介護施設への訪問診療、特に、要介護高齢者を対象にした歯科訪問診療においては、通常の医療安全に加えてさらなる注意が必要である。本研修は、歯科訪問診療時に考慮すべき医療安全についてご解説をいただく。

（座長 高橋一也）

■教育講演 2

5月21日（日） 第2会場 8：00～9：00

歯科臨床における感染予防策

座長：中本 哲自（朝日大）

講師：河野 雅臣（歯科感染制御研究会）

日常の補綴歯科治療は、唾液や血液の飛散を伴うことが多い。また、切削器具や鋭利な器具を用いる機会も多く、患者・術者間のみならず、患者間の感染リスクもあるため、歯科診療における感染予防策の徹底が重要である。また、新型コロナウイルス感染症の出現に伴い、診療室の換気や清拭など、環境要因への対策も重要視されるようになってきた。本研修では、歯科臨床における感染予防策についてご講演いただく。

（座長 中本哲自）

■臨床研究セミナー

5月21日（日） 第3会場 8:00～9:00

臨床研究論文の作成の基本

座長：稲用 友佳（医歯大）

講師：稲用 友佳（医歯大）

和田淳一郎（医歯大）

臨床研究論文の作成には、研究デザインの理解と具備すべきチェックリストに沿った記載が必要である。本セッションでは、観察研究と介入研究の研究デザイン、チェックリスト、解析や論文作成における注意点などについて、各々の研究の経験を踏まえて紹介し、さまざまな方面で臨床研究を遂行されている先生方と情報共有できる場にしたいと考えている。

（座長 稲用友佳）

■臨床エクストリームセッション

5月20日（土） 第1会場 18:20～19:20

オクルーザルベニアは有用な補綴装置となりうるか？

座長：新谷 明一（日歯大）

山本 恒一（日本臨床歯科学会）

講師：大河 雅之（日本臨床歯科学会）

山本 尚吾（ビアンコエロツソ）

前歯部ラミネートベニアは、すでに信頼性の高い修復方法として広く認知され、多くの臨床で使用されている。では、臼歯部における低侵襲な補綴装置とされるオクルーザルベニアは有用な補綴装置となりうるであろうか？

本セッションでは、歯科医師の立場から文献と臨床の両視点を通しオクルーザルベニアのプレパレーションデザインについて考察し、分類を試みた。また、歯科技工士の立場から製作上のポイントと問題点についても報告したい。

（座長 新谷明一，山本恒一）

■イブニングセッション 1

5月20日(土) 第2会場 18:20～19:20

睡眠時無呼吸の口腔内装置について リスク&ベネフィットの視点から適切な下顎位を考える

コーディネーター：奥野健太郎(大歯大)

発表者：奥野健太郎(大歯大)

石山 裕之(医歯大)

鈴木 善貴(徳島大)

■イブニングセッション 2

5月20日(土) 第3会場 18:20～19:20

可撤性補綴装置の支台歯・対合歯の予後

コーディネーター：白井 麻衣(鶴見大)

発表者：野川 敏史(北海道大)

辻岡 義崇(大阪大)

小田由香里(東歯大)

■イブニングセッション 3

5月20日(土) 第4会場 18:20～19:20

インプラント体周囲骨内で起こっていること 動物実験・有限要素解析から見えてきた研究結果を臨床現場に活かすために

コーディネーター：神野 洋平(九州大)

発表者：黒嶋伸一郎(長崎大)

依田 信裕(東北大)

神野 洋平(九州大)

■イブニングセッション 4

5月20日(土) 第5会場 18:20～19:20

モノリシックジルコニア補綴の勘所～ベーシックからアドバンスまで～

コーディネーター：高江洲 雄（福歯大）

発表者：高岡 亮太（大阪大）

加我 公行（福歯大）

■ Meet the Experts

5月20日(土) Meet the Experts 会場 12:40～13:20

講師：植松 厚夫（日本臨床歯科学会）

横山紗和子（昭和大）

山田 将博（東北大）

峯 篤史（大阪大）

笛木 賢治（医歯大）

■ランチョンセミナー 1

5月20日(土) 第1会場 12:40～13:20

中枢から考えるブラキシズムへの新たなアプローチ

座長：小見山 道（日大松戸）

講師：飯田 崇（日大松戸）

協賛：サンスター株式会社

■ランチョンセミナー 2

5月20日(土) 第2会場 12:40～13:20

口腔機能管理における義歯安定剤の活用と使用上のポイント

座長：櫻井 薫（東京支部）

講師：上田 貴之（東歯大）

協賛：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 3

5月20日(土) 第3会場 12:40～13:20

臨床医が知っておくべきインプラントの新たな潮流と隠されたリスク

講師：細川 隆司 (九歯大)

正木 千尋 (九歯大)

協賛：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 4

5月20日(土) 第4会場 12:40～13:20

審美修復治療におけるマテリアルセレクション

講師：中野 忠彦 (日本臨床歯科学会)

協賛：株式会社ジーシー

■ランチョンセミナー 5

5月20日(土) 第5会場 12:40～13:20

デンツプライシロナが提唱するデジタルエコシステムの有用性と展望

講師：荒井 昌海 (医療法人社団 翔舞会 エムズ歯科クリニック)

協賛：デンツプライシロナ株式会社

■ランチョンセミナー 6

5月21日(日) 第1会場 12:30～13:10

患者とのコミュニケーションを加速させる口腔内スキャナの活用

講師：丸尾勝一郎 (東京支部)

協賛：ストロマン・ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 7

5月21日(日) 第2会場 12:30～13:10

L8020 乳酸菌と固定化抗菌剤 Etak について

座長：村田比呂司（長崎大）

講師：二川 浩樹（広島大）

協賛：Etak 協議会

■ランチョンセミナー 8

5月21日(日) 第3会場 12:30～13:10

これからの時代に向けた 3D プリンティングデンチャー

講師：新保 秀仁（鶴見大）

協賛：クルツアー ジャパン株式会社

■ランチョンセミナー 9

5月21日(日) 第4会場 12:30～13:10

シンプルで合理的な接着歯学を応用した審美補綴治療

講師：木村 正人（医療法人きむら歯科医院）

協賛：株式会社 松風

■ランチョンセミナー 10

5月21日(日) 第5会場 12:30～13:10

IOS 対応フルアーチソリューション Nexus iOS® の特徴と臨床応用

座長：鮎川 保則（九州大）

講師：今井実喜生（九州大）

協賛：京セラ株式会社

■市民フォーラム 2023

Web 配信

<視聴 URL> <https://www.kwcs.jp/jps132/civic.html>

「補綴歯科専門医」って何？

座長：飯沼 利光（日本補綴歯科学会社会連携委員会）

講師：會田 英紀（日本補綴歯科学会社会連携委員会）

日本補綴（ほてつ）歯科学会の専門医制度は、平成4年7月に認定医制度として発足して以来、13年の歴史があるものを、さらなる社会貢献をめざして、平成17年8月に専門医制度として改善いたしました。さらに、本年度は新制度移行に向けてさまざまな準備が行われています。

そこで今回のフォーラムでは、一人の補綴歯科専門医を目指す若き歯科医師をクローズアップし、指導医からの熱意ある指導が、有能な補綴歯科専門医を育ててゆく過程をドキュメンタリータッチで追いながら、専門医制度が持つ意味についてわかりやすく解説をします。

（座長 飯沼利光）